

平成21年度決算事業評価シート

1 基礎情報

事業名(実施計画)	浜見平地区拠点整備事業		予算費目	会計	1	一般
事業コード	2-01-02-105			款	8	土木費
政策名	章	自然と都市機能が調和したうるおいのあるまち		項	4	都市計画費
	節	利便性の高い都市基盤づくり		目	1	都市計画総務費
施策名	小節	市街地		細目	170	浜見平地区拠点整備事業費
	施策の方向	秩序ある市街地形成		細々目	1	浜見平地区拠点整備事業
担当部課	経済部拠点整備課	責任者(課長)	越野 明	内線	2611	

2 事業概要

事務事業名(業務棚卸評価)	浜見平地区拠点整備	
事業目的	対象	目的
	浜見平団地居住者及び南西部地域住民	都市再生機構による浜見平団地の建替事業に合わせ、少子高齢化対策としてのまちの活性化を考慮し、本地区を市南西部地域における生活・防災の拠点とするため、良好な都市空間の確保と住環境の整備、公共公益施設の整備を一体的に推進し、快適で安全・安心な地域の拠点づくりを行います。
事業内容	浜見平地区において、団地の建替事業に合わせ、地域の拠点に相応しい防災機能を有した公園や緑地、公共公益施設及び生活利便施設の整備や松尾川雨水幹線上部緑道化・幹線道路(左富士通り)の電線類地中化等の良好な都市空間の整備を行います。	
事業を取り巻く環境(事業に関する市民等のニーズ、国・県等の動向、社会環境等)	浜見平団地は、UR都市機構の建替え対象であり、建替えにあわせて、少子・高齢化の対応、生活利便施設の向上、災害に強く活力のあるまちづくりを行う事が求められています。	
市民参加と協働の活用	「浜見平地区まちづくり協議会」(団地住民、周辺住民、UR、学識経験者)を設立し、建替事業に対する意見の集約等を行い、事業に反映をさせていただきます。	
根拠法令、国の方針・計画等	独立行政法人都市再生機構による団地建替え計画、都市マスタープラン、浜見平地区まちづくり計画	

3 コスト・財源

事業に係るコスト	直接事業費	財源内訳	20年度(決算)		21年度(決算)		22年度(予算)		
			金額	率	金額	率	金額	率	
	財源内訳	国県支出金(千円)	9,000		9,400		95,340		
		地方債(千円)			16,600		121,600		
		その他(千円)							
		一般財源(千円)	36,231		8,279		149,359		
	A 事業費(千円):(予算に対する執行率)		45,231	99.9 %	34,279	30.9 %	366,299	%	
	概算人件費	人件費	常勤職員数	1.2 人		1.4 人		2.7 人	
			常勤職員人件費(千円)…①	10,800		12,600		24,300	
			非常勤・臨時職員数	人		人		人	
			非常勤・臨時職員人件費(千円)…②						
			B 人件費(千円)…①+②	10,800		12,600		24,300	
総コスト(千円)…A+B		56,031		46,879		390,599			

4 目標・実績

事業に係る活動の目標及び実績	指標名	単位	20年度			21年度		22年度	
			目標	実績	達成率	目標	実績	目標	実績
	基盤整備(松尾川雨水幹線緑道・電線類地中化)における調査・設計	目標	平成21年3月						
		実績	平成21年3月						
		達成率	100.0 %		%		%		
	浜見平地区まちづくり整備実施計画策定業務委託	目標	平成21年3月		平成22年3月		平成22年9月		
		実績	平成21年3月		平成22年3月				
		達成率	48.8 %		48.8 %		%		
	(仮)浜見平まちづくり図書作成業務委託	目標			平成22年3月		平成23年3月		
		実績			平成22年3月				
		達成率			53.6 %		%		

事業に係る活動の目標及び実績	松尾川雨水幹線緑道化工事設計・積算・現場管理委託	目標		平成22年3月	平成22年5月
		実績		平成22年3月	
		達成率	%	%	100.0 %
	松尾川雨水幹線緑道化工事	目標		平成22年3月	平成22年5月
		実績		平成22年3月	
		達成率	%	34 %	100.0 %
	松尾川緑道化整備家屋事前調査委託	目標			平成22年11月
		実績			
		達成率	%	%	%
	設計・積算・現場管理委託	目標			平成23年3月
		実績			
		達成率	%	%	%
	松尾川雨水幹線暗渠化工事	目標			平成23年3月
		実績			
達成率		%	%	%	
松尾川雨水幹線上部緑道化工事	目標			平成23年3月	
	実績				
	達成率	%	%	%	
市道0202号線電線類地中化工事	目標			平成23年3月	
	実績				
	達成率	%	%	%	

5 項目別分析

項目	分析結果	理由
必要性 (市民ニーズ)	<input checked="" type="checkbox"/> ①必要性が高い <input type="checkbox"/> ②どちらかといえば必要性がある <input type="checkbox"/> ③必要性が低い <input type="checkbox"/> ④必要性はない	<p>少子高齢化に対応した施設およびファミリー層をターゲットとしたまちづくりが必要です。駅周辺の一極集中型の都市構造となっているため、コンパクトで持続可能な生活・防災拠点として整備を行います。</p>
妥当性 (市が行わなければならないか)	<input checked="" type="checkbox"/> ①市が行わないといけない <input type="checkbox"/> ②どちらかといえば市が実施 <input type="checkbox"/> ③市が行う必然性が低い <input type="checkbox"/> ④市が行う必然性はない	<p>「浜見平地区まちづくり計画」および「地区計画」に沿ったまちづくりを行うため、UR、民間事業者等の指導・誘導等の調整役として公的関与を行います。</p>
継続性 (引き続き実施する必要があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> ①継続性が高い <input type="checkbox"/> ②どちらかといえば継続性がある <input type="checkbox"/> ③継続性が低い <input type="checkbox"/> ④継続性はない	<p>「浜見平地区まちづくり協議会」等による地元意見の取り込み及び事業の進捗状況等の説明を行います。また今後の管理体制等の検討を行います。</p>
効率性 (より効率的な改善が可能か)	<input checked="" type="checkbox"/> ①改善が可能である <input type="checkbox"/> ②改善の余地がある <input type="checkbox"/> ③改善の余地が少ない <input type="checkbox"/> ④改善の余地はない	<p>公共公益施設等の整備に関して、厳しい財政状況のもと、事業の整備手法を検討する必要があります。</p>

6 評価

活動状況 (課題も含む)	<p>浜見平まちづくり整備実施計画を策定するため平成20年度から「浜見平地区まちづくり協議会」を設置し、委員である団地住民、周辺住民、UR、学識経験者を中心に、整備内容についての検討を行ってまいりましたが、意見の取りまとめ等に時間を要したため、委託業務について繰越をしています。また松尾川の暗渠化工事については、工事用地の借地交渉に不測の日時を要したこと及び、施工区域内における水道管が神奈川県企業庁茅ヶ崎営業所の配管図に明記されていないことから調整に不測の時間を要したため、事故繰越とし、平成22年5月末に完了しました。</p>	評価
評価内容	<p>浜見平まちづくり協議会において、防災拠点としての浜見平の役割、松尾川の緑道化整備や幹線道路の整備方針等の検討を行いました。また松尾川の暗渠化工事も行い、計画に基づき事業を推進しました。</p>	

B